

## 国有林材の安定供給システム販売協定予定者の公表

令和8年6月26日

令和8年5月1日付け公募した、「令和8年度国有林材の安定供給システム販売（製品販売）（第2次公募）」の協定予定者を下記のとおり公表します。

物件番号	森林管理署等	樹種	協定数量(m3)	応募者数	最高点	最低点	協定予定者	提案内容の概要
2-01	会津	スギ、カラマツ	4,390	2	71	63	日本製紙木材株式会社	国産材原木取扱数量100万m3を目標に掲げ、新規原木集荷先の開拓を行い、また既存の販売先（製材所・合板工場・チップ工場・バイオマス発電所）及び新規販売先の需要変動にも迅速に対応・供給していく。加えて、トレーラーを活用した効率的な輸送と直送により流通コスト削減に繋げ、付加価値のついた製品を販売・輸出することで国有林の発展に貢献する。
2-02	会津	低質材N、L、アカマツ	3,150	2	72	67	日本製紙木材株式会社	国産材原木取扱数量100万m3を目標に掲げ、新規原木集荷先の開拓を行い、また既存の販売先（製材所・合板工場・チップ工場・バイオマス発電所）及び新規販売先の需要変動にも迅速に対応・供給していく。加えて、トレーラーを活用した効率的な輸送と直送により流通コスト削減に繋げ、付加価値のついた製品を販売・輸出することで国有林の発展に貢献する。
2-03	群馬	スギ	3,000	1	79	79	株式会社トーセン	原料供給の安定化と用途別の原木活用により、品質・価格の両面で競争力のある国産材製品を計画的に市場へ供給でき、販路の拡大につながると考える。また、木材のカスケード利用を行い、原木を無駄なく製品化することで山林全体の価値向上に貢献している。
2-04	群馬	低質材N	3,200	4	76	58	株式会社栃毛木材工業	木質バイオマス事業においては、グループ内・外部発電所への原料供給に加え、地域産業と手を組んだ工業・農業熱利用事業に取り組み、間伐材由来・製材端材チップのみならず、木端やオガ屑を木屑炊きボイラーの原料として自社製材品の乾燥を行う等、森林資源の有効活用に取り組む。
2-05	下越・村上	スギ	1,900	3	69	57	物林株式会社	国有林材に加え、民有林からの丸太仕入れを積極的に拡大する。素材生産事業者との左右商売の強化や、民有林の立木取得を通じた安定的な原木確保を進めるとともに、主伐後の再造林を前提とした取引を推進することで、山元の経営安定と資源循環の確立に寄与する。山形県白鷹町で当社が出資、協業しているおきたま林業での民有林皆伐再造林の取組を広げていき、単なる原木買付にとどまらず、再造林を含めた中長期的な森林経営の持続性を意識した調達体制を構築する。
2-06	下越・村上	低質材N	2,100	5	69	24	株式会社北越マテリアル	量的な安定にとどまらず、品質面での安定（水分率改善等）にも積極的に取り組み、納品先発電所の安定操業（利用）貢献する。それにより、国産材の地位・自給率（利用率）を向上させ、林地残材の利用促進等持続可能な森林資源のさらなる循環に寄与する。
2-07	伊豆	スギ、ヒノキ、低質材N	1,000	4	66	39	特定非営利活動法人小山緑志会	近隣製材所・森林組合・事業者と共存出来る町づくりを行いました。素材生産事業・輸送コストの軽減によるフルトレーラー・大型車・中型車10台所有となりドライバーの教育・自社運搬にも積極的に取り組む。また、県産材のブランド化を図り地域連携で地産地消を積極的に展開する。
2-08	千葉	スギ、ヒノキ、低質材N	2,600	1	78	78	株式会社トーセン	原料供給の安定化と用途別の原木活用により、品質・価格の両面で競争力のある国産材製品を計画的に市場へ供給でき、販路の拡大につながると考える。また、木材のカスケード利用を行い、原木を無駄なく製品化することで山林全体の価値向上に貢献している。